

平成24年2月29日

高速電力線搬送通信設備作業班事務局

世界無線通信会議における海洋レーダーへの短波帯割り当てについて

○世界無線会議（WRC-12）の概要

- ・国際電気通信連合（ITU）が行う無線分野での最大規模の会議で「国際的な周波数分配」について各国間での調整を目的として開催（3～4年ごとに開催）
- ・2012年1月23日（月）～2月17日（金）、スイス・ジュネーブにおいて開催

○海洋レーダーへの短波帯の割り当て

海洋漂流物や津波等の観測のための海洋レーダー用の周波数を確保するための議題（議題1.15）

【概要】

港湾における安全航行や津波観測への応用などに用いられる海洋レーダー機器の運用に必要な周波数の獲得を目指すもの。

【結果】

我が国の希望する周波数帯を含む8つの帯域（24450～24600kHz等）に、無線標定業務の周波数が新たに確保された。

※ 海洋レーダーのピークEIRP（等価等方放射電力）は、25dBWを越えないこととされている。

他に、コールサイン等の報告義務、国境からの離隔距離等が設定されている。

技術基準の詳細は、ITU-R 勧告 M.1874 参照。